



Press Release

報道関係者各位

平成 27 年 11 月 26 日

株式会社ジャパンコンテンツトレーディング

+++++

【国内初】

ジャパンコンテンツトレーディング、
インドネシアの複合レストラン「MIDTOWN」にて日本の食品・食材のプロモーションおよびアンケート支援サービスを開始

+++++

株式会社ジャパンコンテンツトレーディングは、インドネシアの首都ジャカルタのレストラン「MIDTOWN」で、国内初となる日本の食品や食材を広くアジア地域へ向けてマーケティングしていくための支援サービスの提供を 11 月 26 日に開始します。

日本の文化・食材・サービス・製品の海外展開、海外進出のサポートを手がける株式会社ジャパンコンテンツトレーディング(本社:東京都品川区、代表取締役社長:吉田 卓司)は、インドネシアへの日本コンテンツ輸出支援事業の一環として、首都ジャカルタのレストラン「MIDTOWN」で日本の食品・食材のレストラン内マーケティングのための支援サービスを 11 月 26 日に開始します。このサービスは、インドネシアおよびアジア各国・地域への食品や食材の販売を考えている日本の生産者やメーカーが、インドネシアのローカルが集まる有名レストランにてメニュー開発・販売、プロモーション、フィードバックデータの収集などを一括で利用できるサービスです。

▼ インドネシアでの食材のテストマーケティングプラン:<http://japan-ct.com/img/rmkt02.pdf>

■インドネシアの首都ジャカルタで、食品・食材のメニュー開発からマーケティングまでを幅広く支援
これまでインドネシアでの食品・食材のテストマーケティングは現地での展示会またはショッピングモール内での一時的なイベントが中心だったため、現地ユーザーとのコミュニケーションが浅く、説明やフィードバックなどきめ細かなコミュニケーションがとれず、調理器具が限られているといった事情から、きちんと調理した“本物の味”を提供することがむずかしい“広く・浅い・短い”マーケティングにとどまりがちでした。

今回私たちは食品・食材のメニュー開発から行き、2 週間から 1 か月間、レストランの特別メニューとしてシェフが調理して提供、さらに店内でのプロモーションやその後の輸出や販促にいかせる生の声などのデータを収集することでより“狭く・深い・長い”マーケティングが可能な支援サービスを提供します。なお、インドネシアでレストラン内マーケティングを展開するサービスは日本国内初の取り組みとなります。

初回として、赤城食品株式会社(本社:群馬県太田市、代表取締役社長:遠藤洋平)の商品である「上州赤城うどん」を、ジャカルタの有名レストラン「MIDTOWN」のメニューとして開発し、提供します。同時にプロモーション活動およびうどんを食べた顧客にアンケートを実施、データを収集します。



PERNAHKAH ANDA MERASAKAN UDON ASLI JEPANG?

Dibuat dengan terigu istimewa dari ladang gandum nan subur di dataran luas Hokkaido. Sebuah maha karya yang tercipta dari 65 tahun pengalaman penggilingan udon tradisional.



“ Tekstur udon yang halus dan lembut. Sangat kenyal. Aroma harum dari gandum menyebar dalam mulut!

Akio Endo - Sang Maestro, Akagi Foods Co., Ltd.

Digiling di Prefektur
Gunma, Jepang!
Pabrik Standar ISO22000



ジャパンコンテンツレーディングでは、今後ジャカルタの有名レストラン 10 店舗と提携し、日本の食品・食材のインドネシア展開をさらに支援していきたいと考えています。

■インドネシアの首都ジャカルタにおけるレストラン内マーケティング支援サービスの概要

エリア：インドネシア・ジャカルタ

周辺人口：約 2,000 万人。

実施レストラン：「MIDTOWN」（ジャカルタの中心部セノパティにあるローカルで人気の複合型レストラン）

サービス内容：メニュー開発、販売、店内プロモーション活動、アンケート収集活動

期間：1 週間から 1 か月程度（これ以上の長期に関しては応相談）

■レストラン「MIDTOWN」について

ジャカルタの一等地 SCBD エリアの横、「SENOPATI（東京の代官山のような場所）」にある 3 階建てのハイセンスな複合型レストランです。



1F: ワイン & カクテルバー



2F: インターナショナルダイニング



3F: イベントスペース(約 800 平方メートル)



客層はインドネシアローカルの中間層以上のトレンドリーダーや外国人など感度の高いメンバーが集まります。料理は、イタリアン、メキシカン、インドネシアン、和食など多彩なメニューを定期的に変更しながら提供しています。



※現地インドネシアの流通メーカーを集めた試食会を開くことも可能です。

※テストチキンで好評を得た場合には、実際のインドネシア現地流通、販売に向けてのコンサルティングを担当させていただくことも可能です。

■なぜインドネシアなのか？

インドネシアは、ASEAN 加盟国最大の 2 億 4,000 万人以上の人口を有し、その数は加盟国全体の半数を占め、世界でも第 4 位の大国。同国は、GDP 成長率が年 6%以上と高い水準で推移しており、2020 年には同国内の中間層・富裕層が約 1 億 8,000 万人に達すると予測され、経済成長めざましい有望な国です。また、インドネシアは親日国としても知られます。たとえば、同国の日本語学習者は 2009 年時点で韓国、中国に次いで世界第 3 位。この 10 年で学習者数は 10 倍以上も増えています。昨今の中国との領土問題の影響もあり、非常に注目されています。

※参考資料：「海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009 年」「中間層を核に拡大する ASEAN 消費市場」

※1 家計あたりの年間可処分所得が 5,000 ドル超 3 万 5,000 ドル以下を中間層、3 万 5,000 ドル超を「富裕層」と定義

■赤城食品株式会社について

赤城食品株式会社は、日本有数の小麦の産地である群馬県に拠点を置く乾麺、パスタ製造販売のリーディングカンパニーです。

製品の安全管理体制を強化させるため、ISO22000 認証を取得しており、お客さまに満足していただける安心・安全・高品質な製品づくりに努めています。

*記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【株式会社ジャパンコンテンツレーディングについて】

株式会社ジャパンコンテンツレーディングは、日本企業のコンテンツ輸出支援、進出支援などを手がける貿易商社です。株式会社スクエア・エニックス・ホールディングスや博報堂グループである株式会社アイレップなど大手企業とのインドネシアでの合併事業のほか、2013 年には ASEAN 初となる大相撲ジャカルタ巡業などを成功させた実績があります。

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-11 #604

代表者：代表取締役社長 吉田卓司

設立：2013 年 7 月

電話番号：03-6450-4508(代表)

URL：<http://japan-ct.com/>

＋報道関係者 お問い合わせ先+++++

株式会社ジャパンコンテンツレーディング (www.japan-ct.com/)

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-11 #604

TEL:03-6450-4508 FAX:03-6277-3433

担当：金丸 [問い合わせメール]prate@japan-ct.com

+++++